

第 38 回 日本動物児童文学賞審査委員会の会議概要

I 日 時 令和 8 年 7 月 13 日 (月) 14 : 00 ～ 15 : 30

II 場 所 日本獣医師会会議室及びWEB 併用

III 出席者 (*はWEB 出席)

【委 員】

動物福祉・愛護部会長

佐 伯 潤 日本獣医師会理事 (動物福祉・愛護部会長)

動物福祉・愛護関係省庁及び教育関係省庁関係者

石 川 拓 哉* 環境省自然環境局総務課動物愛護管理室長
(代理出席：小林誠企画官)

藤 枝 秀 樹* 文部科学省初等中等教育局視学官

動物福祉・愛護関係学識経験者

浅 利 昌 男* 公益社団法人日本動物福祉協会顧問

金 谷 和 明* 公益社団法人日本愛玩動物協会常務理事

田 畑 直 樹* 公益財団法人日本動物愛護協会理事長

成 島 悦 雄* 井の頭自然文化園元園長

公益社団法人日本動物園水族館協会顧問

【日本獣医師会】

伏 見 啓 二 公益社団法人日本獣医師会専務理事

IV 議 事

- 1 委員長の選任 (協議)
- 2 第二次審査に至るまでの審査経過等 (説明)
- 3 審査 (協議)
- 4 その他

V 会議概要

伏見専務理事から、各委員に対し、ご多忙の中第二次審査にご協力いただいたことへの感謝とともに、挨拶が述べられた。

1 委員長の選任

委員の互選により、佐伯委員が委員長に選任された。

2 第二次審査に至るまでの審査経過等 (説明)

事務局から、資料に基づき、応募状況、第一次審査、第二次審査の経過等について説明された。昨年度に引き続き、本年度も、一般社団法人日本児童文芸家協会に第一次審査の業務を委託し、同協会の常務理事である横田明子氏を委員長、おのみつこ氏を副委員長とした有識者 18 名で第一次審査委員会を設置し、応募された 153 作品の中から 15 作品を第二次審査候補作品として選出した旨報告された。

3 審査（協議）

各審査委員による審査候補作品の事前審査結果をもとに、協議の結果、別紙のとおり大賞 1 作品、優秀賞 2 作品、奨励賞 5 作品が選定された。

4 その他

- (1) 委員から、応募作品に関し、「小学生が読むにはルビが必要ではないか」との質問があり、事務局から、作品集制作時には全漢字にルビを付与している旨を説明された。
- (2) 字数オーバーや字数不足に関して「第一次審査に回さなくて良いのでは」との意見に対し、事務局から、「受付時に規定との整合は確認している。あらためて状況を確認の上、対応を検討する」旨説明された。

5 まとめ

- (1) 大賞、優秀賞受賞者の表彰は、令和 8 年 9 月 19 日（土）に東京国立博物館・平成館にて開催される令和 8 年度動物愛護週間中央行事屋内行事の会場において行う。
- (2) 大賞及び優秀賞の 3 作品は本文を、奨励賞の 5 作品は作品名と著作者名のみを「第 38 回日本動物児童文学賞受賞作品集」に掲載し、製本のうえ、都道府県等の関係機関、小学校等の教育機関及び図書館等に配布する。